

人権協地区委員会活動の紹介

～「山田にあった戦争」から学ぶ～

◎海軍山田地下弾薬庫

【日時】平成26年11月2日(日)13時30分～
【場所】山一地区公民館
【講師】塚崎昌之さん(千里青雲高校教諭)
【協力】山田高校/吹田市立平和祈念資料館



新ガンバスタジアム建設地の地下に弾薬庫の跡が見つかり、埋め戻すことがニュースになりました。「幻のトンネル」とされていた海軍山田地下弾薬庫です。21年前、山田高校の先生と生徒たちによってその幻の施設が詳しく調べられ、弾薬庫の模型が作られました。



今回、模型を吹田市立平和祈念資料館から借用し、調査、製作を指導された塚崎先生に改めてこのバールに包まれた施設についてお話しいただきました。また、終戦直後におこなわれた貯蔵弾薬の爆破処理の体験談を、数少なくなった地元の体験者にうかがうこともできました。地元で歴史的建造物があったことを再認識し、改めて心に刻むまたとない機会となりました。その後に開催された山一地区文化祭にも模型と資料を展示し、多くの方にご覧いただきました。

◎紙芝居『山田に学ぶ戦争体験集』

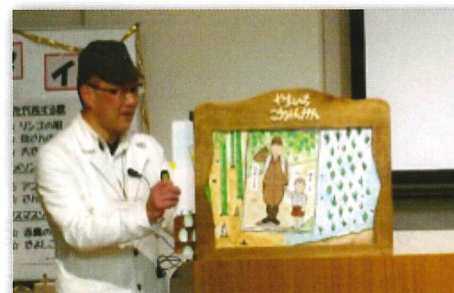
【日時】平成26年12月21日(日) 13時30分～
【場所】山一地区公民館
【上演者】山一ピクチャーカードクラブ

山一公民館のグループ活動「山一ピクチャーカードクラブ」は、次代に伝えたい「おはなし」をオリジナルの紙芝居にし、上演する活動をしています。そのひとつとして、地域の方の戦争体験をオリジナル紙芝居にする「山田に学ぶ戦争体験集」の製作、上演に取り組まれています。

昨年に軍事工場での空襲体験をもとにした第1集を、今年は、極秘裏に進められた地下弾薬庫建設のため田畑を提供させられた体験などをまとめた第2集を製作され、今回上演していただきました。

子どもから高齢者まで幅広い世代の方にご参加いただき、風化しつつある戦争体験を、より身近なものとして受け止めていただけたと思います。

※12月20日におこなわれた吹田市立平和祈念資料館でのイベント「3世代で楽しむピースフルタイム～紙芝居&ハンドベル～」でも同内容の紙芝居を上演されました。



山一地区委員会 桑原喜幸

あなたも人権協推進委員になりませんか！

人権啓発を目的に、各地区でいろいろな活動が行われています。あなたも人権啓発推進委員になって、一緒に活動しませんか。…下記の人権協事務局までお問合せください。

発行/吹田市人権啓発推進協議会 事務局/吹田市 人権文化部 人権平和室 内
〒564-8550 吹田市泉町1-3-40
電話 06-6384-1539 FAX 06-6368-7345
E-mail suitajinken@wi.kualnet.jp

吹田市 人権協だよ



じんけんネット吹田

No.38

平成27年(2015年)5月

戦後70年、市制施行75周年記念事業

—2015— 憲法と市民のつどい

人権協では、市民一人ひとりの人権意識の高揚を図り、ちがいを認めあい、ともに生きることのできる社会をめざし、毎年5月に「憲法と市民のつどい」を実施しています。

◆日時 5/23 (土)
13:30～16:00
(開場 13:00)

◆場所 メイシアター 中ホール
(阪急吹田駅前)

入場無料 ◆ 申込不要 ◆ 手話通訳あり

講演

「介助犬を知っていますか？」

～シンシア、エルモ、そしてデージーとともに～

◆講師 木村 佳友さん (特定非営利活動法人 日本介助犬アカデミー 理事 日本介助犬使用者の会 会長)



交通事故で車いす生活となった木村佳友さん。リハビリ生活を経て、平成4年にコンピューターを扱う在宅勤務の形で復職を果たしました。しかし、日々の生活には、例えばフロッピーディスクひとつ落とただけでも仕事が止まってしまう不便さがありました。そんな折、介助犬のことを知り、飼い犬のシンシアが訓練を受けて介助犬となり、シンシアと二人三脚で社会参加の道を歩みはじめました。現在は3代目の介助犬、デージーと生活をされており、行政やマスコミなどへの働きかけなどを通じて、介助犬の普及啓発に取り組んでおられます。

コンサート

情熱と哀愁のタンゴ

演奏: タンゴ・コケータ

クラシカルでエレガントなたたずまいと、情熱的でダイナミックなサウンドに定評のある本格的タンゴ・バンド。



吉岡 凛
よしおか りん



木村 直子
きむら なおこ



星野 俊路
ほしの しゅんじ

※コケータとは、アルゼンチンの公用語であるスペイン語で「魅力的な女性」の意味です。

性的マイノリティ(性的少数者)と人権

『性的マイノリティ(性的少数者)』という言葉をご存知ですか。自分の性別に違和感を感じている人や、異性を恋愛対象としない人、身体の特徴からは性別がはっきりしない人などを表す言葉です。

性的マイノリティの人たちの数は、正確にはわかりませんが、決して少なくありません。例えば、性的マイノリティのうち、『LGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字)』の人は、平成24年(2012年)に電通総研が行った調査によると、調査対象者約70,000人中の約5.2%が『LGBT』という結果でした。

偏見の根強さや理解のなさから、誰にも打ち明けられずに孤立感を深めたり、性的マイノリティであるがゆえの生きづらさを感じている人が多いです。

今後、人権協でも、人権課題の一つとして理解を深めていきたいと思っています。

「みんなちがって、みんないい」。誰もが輝ける社会にしませんか。

「じんけんカルタ」完成!

「犬も歩けば棒にあたる」誰もがよく知っている「カルタ」の読み札ですね。長野県では「人権かるた」が作られ、「読み札」については子どもから大人まで、よく知られているそうです。

吹田市でも子どもたちがカルタ取りを楽しく遊びながら他の人を思いやり、認め合えるような子どもに育ててくれることを願って、吹田市人権啓発推進協議会が「じんけんカルタ」を作成することとなりました。

まず、募集要項、選定要綱を決め、市内小・中学校や市民から



読み札の選定委員会

「読み札」を募集しました。学校によっては学年全体で、あるいは学級全体で取り組むところもあり7月に応募を締め切ったところ、6,425句という想定外の応募がありました。公民館からも応募があり、小・中学生から社会人まで幅広い方々の協力により内容も充実したものとなりました。また人権協のみなさんはじめ多くの意見も聞きながら、選定委員の方々に長時間の選定作業をしていただき46枚の「読み札」を決定することができました。

「絵札」については、吹田市絵画同好会の方々に、『子どもたちのためなら』とご協力いただき、子どもたちが親しみやすい「じんけんカルタ」となりました。

以上のように多くの方々の協力によって「じんけんカルタ」を完成することができました。ありがとうございました。

まもなく各学校等に配布いたしますので、様々な場面で活用して下さい。

「じんけんカルタ」作成委員会 委員長 村田 紘一



カルタ作成委員会



吹田市絵画同好会

じんけんカルタ「読み札」募集箱

応募要項

①応募用紙に読み札の文を書いて、この袋に入れてください。

②応募用紙に書かれている応募のしかたをしっかりと読んで応募してください!

③締切

平成26年(2014年) 7月31日(木)【厳守】

お問い合わせ先

吹田市人権啓発推進協議会 (吹田市人権文化館・平和館内)

吹田市人権文化館 第1階 7号3番40号

〒564-8650 FAX 06-6368-7345

TEL 06-6364-1599 E-mail: suikajinken@wikunet.jp

ありがとうございました!

の

な

せ

応募総数…6,425句

応募いただいた学校数など

小学校…13校(836名)

中学校…3校(214名)

市民…36名

読み札一覧(全46枚)

ありがとう みんな笑顔に なる言葉
いじめなし そんな学校 つくろうよ
うれしいな 仲間とすごす この時間
えんりよせず 自分の思いを 伝えよう
おたがいに 認めあおうよ いいところ

かんがえて 言っていますか その言葉
きみのこと 支えてくれる 人がいる
草や花 おなじ地球に 生きる友
けんかして ごめんなさいと 仲なおり
こまったら だれかに 相談してみよう

さべつない 平和な世界 つくろうよ
じんけんは ちがいを認める ところから
すきなこと 夢中になって やりたいな
せめないで だれにもあるよ 失敗は
そこがいい みんなちがうよ わたしたち

たいせつな 一人ひとりの その命
ちからより やさしい心を たいせつに
つぎがある 失敗したって いいじゃない
手をつなぐ ふわっと心が あったまる
友だちは かけがえのない 宝物



なりたいな 人の悲しみ わかる人
にげだすな 勇気を出して ふみだそう
ぬぐっても 消えない痛み あるんだよ
願います 戦争のない 世の中を
のびのびと すごせる世の中 つくろうよ

はなしたら 気持ちが楽に なるだろう
ひそひそと 人の悪口 言わないで
ふりかえろう していいことと 悪いこと
へっちゃらだ 自分が自分で あれたなら
ほめことば みんなをのばす 言葉だよ

まわりには みんながいつも いるんだよ
見てないで はっきり言おう 「やめよう」と
むりしない 自分のペースで いいんだよ

目の前の こまっている人 助けよう
もっとある あなたとわたしの いいところ
やさしさは 平和な世界の もとになる
指文字で あいさつかわす 交流会
喜びは 仲間みんなと わけ合おう

らんぼうな 言葉は人を きずつける
りかいしあい 助け合って 生きていく
るるんと みんな楽しい うれしいな
れいぎとは 相手を敬う 第一歩
ろうそくを たてておいおい うれしいな

わっはっは 笑えば楽しく なってくる
夢を追い 仲間を信じて さあ行こう
ん? あれ こまっている子に 手をかそう